感染予防衬袋委員会

目標

施設内の感染予防ルールを職員一人ひとりが守り、感染症の発生予防と発生時の拡大防止に努める

年間計画

施設内の感染予防対策を職員一人ひとりが正しい知識と根拠をもって行動することができる

- 1. 施設内のルールチェック表に基づき感染委員でラウンドし、適切に行われているか確認し、職員に感染予防の注意喚起を行う
- 2. 感染性胃腸炎等の感染症についての研修と対策実地訓練を年2回(10月、1月)行い、標準予防策や感染症への理解を深める
- 3. 感染に関する外部研修やインターネットを活用し、情報を収集して感染対策に活かすとともに、関連する情報を動画や資料などで確認できるようにし、職員の感染予防に対する意識を高める
- 4. 施設内での感染症発生時は、状況を把握し管理者と臨時委員会の開催、 情報の共有を行い、感染対策・拡大防止を実施していく
- 5. 感染症に対する基本をもとにした知識と技術を職員全員が身に着けるように説明し指導していく
- 6. マニュアルの見直しを年1回行い、改定後周知する